

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂において、第124期 幹部予定者課程の入校式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、一言お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程に入校される皆様、御入校、誠におめでとうございます。

皆様は、これまで部隊などにおいて積み重ねてこられた、たくさんの経験、実績を認められて、晴れて幹部予定者課程へ入校されたと伺っております。

そのような皆様をお迎えすることは、地元江田島市としても大きな喜びであり、心から歓迎を申し上げます。

どうか、皆様におかれましては、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐここ江田島で、幹部自衛官として、強い責任感と確固たる使命感をもって、高い教養と技能、指導力を身に付けていただきたいと思っております。そして、卒業後は、その実力を存分に発揮されることを、心から期待しております。

皆様御存知のとおり、ここ江田島は、明治21年に旧海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和31年に海上自衛隊をお迎えしてから現在に至るまで、共存共栄、一体不可分の関係、少し柔らかく申し上げれば、相思相愛の関係で発展しており、自衛隊の皆様との「縁」や「絆」を大切にしてきた地でございます。

本市は、四季折々の美しい自然に囲まれ、秀峰、古鷹を望む風光明媚な瀬戸の島として、親しまれております。

この自然の恵みの一つで、今が旬の海の幸、牡蠣は、全国トップクラスの生産量を誇り、カキ祭や かきカキマラソン大会など、牡蠣にちなんだイベントも開催されます。東京大学やシャープといった企業による人工知能、AIを活用した牡蠣養殖効率化の実証実験も、この江田島湾内で始められるなど、全国的にも注目されている地でございます。

また、近年は、本市の気候に適したオリーブ栽培を推進しており、本市で栽培したオリーブの枝で編んだオリーブ冠は、地域の運動会から国際的なスポーツ大会まで幅広く採用していただくなど、オリーブの島としてのPRにも取り組んでおります。昨年7月の豪雨災害における海上自衛隊の皆様による復旧・復興活動においても、あの酷暑の中、「オペレーションオリーブ」と名付けて支援していただきました。改めて、海上自衛隊が地元江田島市とともに歩んでいただいていることを、全ての市民の皆様が強く実感をし、大変感謝しております。

本市は、温暖な気候から、1年を通して、海や山など島全体を楽しむことができるアクティビティの宝庫でもあります。是非、厳しい訓練の合間には、ここ江田島の自然を満喫してください。そして、江田島市との「縁」を紡ぎながら、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思っております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成31年2月22日

江田島市長 あき おか しゅう さく  
明 岳 周 作